

公益社団法人 広島市シルバー人材センター



令和4年度

事務局だより 8月号

就業現場視察を実施しました!

7月が安全・適正就業強化月間であることから、理事長及び安全・適正就業部会の委員等が2班に分かれて就業現場4か所を巡回し、安全な就業や熱中症予防など健康管理に努めるよう注意を呼びかけました。



中区河岸緑地 (草刈り業務)



中区河岸緑地 (草刈り業務)



ヌマジ交通ミュージアム (おもしろ自転車貸出し業務)



(学校内園芸補助業務)



(学校受付業務)



(駐車場管理業務)

会 議 開 催 報 告

理事会専門部会 広報部会

7月13日（水）、第2回広報部会を開催しました。

「部会長の選任」及び「会報ひろしまシルバーだより123号の編集」について事務局から説明し、委員の皆様に協議していただきました。

センターや会員間のコミュニケーションづくりをより推進するため、情報共有の場である「会員のひろば」を拡大・充実していくこととなりました。

また、会報の発行方法の見直し（Web配信への移行）についても、意見交換を行いました。

広報部会では、「いろんな媒体」、「あらゆる場面」を活用した普及啓発活動を通して、シルバー事業の理解促進とイメージアップに取り組んでいきます。



理事会専門部会 安全・適正就業部会

7月15日（金）、第1回安全・適正就業部会を開催しました。

「部会長の選任」、「所掌事項」、「令和4年度実施事業」、「事故発生状況」及び「会員の指導措置」について事務局から説明し、委員の皆様に協議していただきました。

その結果、会員の指導措置については「文書指導1件」と「口頭指導6件」とすることとなりました。



理事会専門部会 会員部会

7月28日（木）、第1回会員部会を開催しました。

「部会長の選任」、「所掌事項」、「令和4年度実施事業」、「会員研修見学会」及び「健康増進事業」について事務局から説明し、委員の皆様協議していただきました。

会員研修見学会は、委員の方々も大いに楽しみにされており、活発な意見交換を行った結果、「尾道市シルバー人材センター観光ガイドと巡る文学のこみちと千光寺など」の行程となりました。

健康増進事業は、いくつかの競技候補を挙げ、今年の競技は「ボウリング大会」に決定しました。

また、新たな同好会の設立や図書コーナーの整備など、積極的な意見もいただきました。

会員研修見学会・健康増進事業ともに、参加者の募集については、シルバーだより9月号でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております。



理事会専門部会 業務推進部会

7月28日（木）、第1回業務推進部会を開催しました。

「部会長の選任」、「所掌事項」、「第五次基本計画及び令和4年度事業計画」、「令和4年度シルバー活性化検討会議」、「令和4年度主要事業の実施状況」及び「有償ボランティア事業」について事務局から説明し、委員の皆様協議していただきました。

有償ボランティア事業は、朝のゴミ出しなど日常のちょっとした困りごとをお手伝いする事業であり、「てごサポートサービス（てごサポ）」の名称でスタートすることとなりました。

今年度からは、第五次基本計画に基づき、当センターの課題である会員の確保や就業機会の拡大に努めていくこととします。



● 熱中症にご注意ください



連日、猛暑日が続き、新型コロナも感染拡大が続いております。

熱中症予防についての正しい知識を身に着け、自身の体調の変化に注意し、体調が悪くないと感じた時には、就業を控えるなど無理をしないようにしてください。

屋内外を問わず、のどの渇きを感じないときでも、こまめに水分を補給しましょう。大量に発汗する状況では、経口補水液[※]など、塩分等も含んで補給しましょう。

(※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの)

事務局では熱中症予防のための飴を配布しています。

暑さを避け、こまめに水分補給を

涼しい服装



日陰を利用



日傘・帽子



水分・塩分補給



熱中症が疑われる人をみかけたら

涼しい場所へ

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる

からだを冷やす

衣服をゆるめ、からだを冷やす

(特に、首の回り、脇の下、足の付け根など)

水分補給

水分・塩分、経口補水液[※]などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

万全の安全対策で 事故を減らしていきましょう！

7月に入り賠償事故が8件発生しています。昨年度の同時期と比較して6件も多く、内訳は、草刈り3件、剪定3件、その他2件となっています。

草刈り作業では、必ず飛散防止ネットを張りましょう。飛散防止ネットを張らずに作業をして事故を起こした場合、賠償責任保険の支払い対象になりません。その場合は、事故を起こした会員さんに賠償額を負担してもらうことになります。

事故発生状況

(各年度7月末現在)

区分	令和4年度	令和3年度	差
傷害事故	9件	8件	1件
賠償事故	14件	8件	6件
計	23件	16件	7件

安全はすべてにおいて優先する



交流カフェ

日時 : 2022年 **9**月 **1**日 (木)
9:30~11:30

場所 : 広島市シルバー人材センター
本部4階 会議室
(広島市中区西白島町 23-9)

会員交流の場です。ぜひお越しください！

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって中止する場合がございますので、来られる前には本部事務局へお問い合わせください。



健康 ぷらざ

コロナ禍と アルコール依存症

久里浜医療センター 精神科診療部長 真栄里 仁

企画：
日本医師会

No. 555

新型コロナウイルス感染症とアルコールの関係

新型コロナウイルス感染症の流行によって、いわゆる外飲みは減少している一方で、在宅時間の延長、経済不安の高まり、孤独感の増長などから、新たな飲酒問題の発生が懸念されています。アルコール摂取と関係が深いとされる肝炎・膵炎^{すい}が増加する可能性があります。また、アルコール摂取による免疫力の低下や炎症の悪化などによって新型コロナウイルス感染のリスクが高くなり、飲酒行動に問題のある人では感染リスクが1.4倍になると報告されています。



飲酒が原因の健康障害や事故、 アルコール依存症を引き起こさないために

① 飲み過ぎない

健康リスクの比較的少ない飲酒量は、1日当たりビールではロング缶1本、缶チューハイ(度数7%)ではレギュラー缶1本程度までです。特に女性やもともとお酒に弱く顔が赤くなりやすい人は、より少ない量にしましょう。

② いままで飲んでいない人は飲酒しない

退屈や不安感を和らげる手段として、新たに飲み始めることはやめましょう。

③ 感染予防を意識する

酔うと、手洗いなどの感染予防対策が不十分になりがちです。感染予防をより意識しましょう。

④ 日中の飲酒は避ける

日中に飲むと、飲酒量が多くなりやすいだけでなく、酩酊に伴う転倒などの事故のリスクにもなります。在宅でもオフィスでも、仕事の効率低下やミスにつながります。

⑤ 翌日の飲酒運転に注意する

アルコールの分解には意外と時間がかかり、ビールのロング缶1本に5時間かかることもあります。飲んだ次の日には知らないうちに飲酒運転となっていることがありますので、十分に注意しましょう。

厚生労働省の事業である依存症対策全国センターのホームページ(<https://www.ncasa-japan.jp/>)に、アルコール依存症やアルコール健康障害の相談窓口の案内、専門医療機関の情報が掲載されています。心配な時には利用してください。

日本医師会ホームページでは、健康ぷらざのバックナンバーがご覧いただけます。



日医

バーコード読み取り機能付き
携帯電話もしくはスマートフォン
でご利用になれます。